

NEWS RELEASE

2017年5月18日

企業会計基準委員会と欧州財務報告諮問グループの代表者による二者間会合の開催

企業会計基準委員会
欧州財務報告諮問グループ

企業会計基準委員会（ASBJ）及び欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）（以下「両者」という。）の代表者は、2017年5月17日と18日に、東京で会合を開催しました。この会合は、両者が二者間で行っているもので、公式のものとしては今回で第3回目となります。

今回の会合において、両者は各々の活動について最近の状況を確認するとともに、協力の可能性について意見交換を行いました。技術的なテーマとしては、のれん、料金規制対象活動、マイナス金利、保険契約、及び国際会計基準審議会（IASB）で進められているコミュニケーションの改善（better communication）のためのプロジェクトに関するそれぞれの見解について議論しました。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「私は、アンドリュー・ウォッチマン氏がEFRAGのTEG議長兼CEOに就任以来、初めての会合を東京で開催できたことを大変喜ばしく思っている。財務報告に関する欧州の関係者の見解を表明するEFRAGと、建設的な議論ができたことは、我々にとって大変有意義なことである。高品質な財務報告に貢献するために、今後も両者の関係を継続し、国際的な協働をさらに進めていくことが重要であると考えている。」

アンドリュー・ウォッチマンEFRAG TEG議長兼CEOは次のように述べています。

「私は、今回、ASBJ及びASBJの関係者との対話の機会を得られたことを非常に感謝しており、会議の主催者である小野委員長に感謝の意を表明したい。議論を通じ、ASBJとEFRAGの懸念や優先事項の多くが共通していることが明らかになった。ASBJとEFRAGは、意見を交換し、アイデアを共有し、協働の可能性を模索することによって、国際的な議論により効果的に貢献することが可能となるだろう。」

両者は、今回の会合が非常に有意義なものであったことを確認し、引き続き、意見交換を続けていくことに同意しました。次回の会合は、2018年にブリュッセルで開催する予定です。

企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）について

EFRAG は、主に以下の目的のために設立された。

- IFRS の開発を支援する議論において欧州の関係者の十分な参加を確保するとともに、IASB の基準設定プロセスを通じて欧州の見解を示すこと。
- プロアクティブな会計関連の活動を促進、調整及び実行することにより、発生する財務報告上の論点の分析及び議論に欧州の関係者を関与させること。
- 欧州におけるすべての上場企業の連結財務諸表における使用に関するエンドースメントを行うため、IFRS の受入可能性について欧州委員会に対する助言を行うこと。

EFRAG に関する詳細な情報は、ホームページ <https://www.efrag.org/> をご参照いただきたい。